

2019年10月18日
住友生命保険相互会社

東京都が発行する「グリーンボンド」への投資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、東京都が発行する「東京グリーンボンド」への投資を決定しました。

「グリーンボンド」とは、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券で、本債券は国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド」に適合しており、ドイツに拠点を置く第三者評価機関である ISS-oekom からセカンドオピニオンを取得しております。本債券の資金使途として、気候変動への適応、スマートエネルギー都市づくり、生活環境の向上に関連した事業等が予定されております。

住友生命は、持続可能な社会の実現、および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、ESG 投融資に取り組んでおり、本債券への投資につきましても、その一環として行うものです。

今後も、ESG 投融資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでまいります。

<本債券の発行概要>

発行体：東京都（S&P 格付：A+）

発行額：総額 50 億円

年 限：30 年

以上